

基本政策 その他（全基本政策共通）

政策1 新たな郷土愛を育み一体感が実感できるまちづくり

■ 取り組み状況と成果

● 地域資源の再発見

地域ブランドを考えていくためには、身近な地域の自然・文化遺産・温泉・特産品など地域資源を洗い出すとともに、市民が地域の現状を正しく把握することが大切です。そこで、地域の魅力を市民に再認識してもらうために、歩いて市内の地域資源を巡る「甲斐市ちいさな旅」を実施しました。

● 甲斐市の地域イメージの確立

前期基本計画に掲げられた地域ブランド戦略推進プロジェクトにおいて、強みとなる地域資源の掘り起こし、活用方法等の検討を行い、甲斐市ブランドのベースとなる地域イメージを「自然環境」と「甲斐的（快適）生活」としました。

● イベントの開催

旧町で行われていたイベントを統合して、平成19年度から「甲斐市わくわくフェスタ」を開催し、さらに平成21年度からは「郷育の日・甲斐市わくわくフェスタ」とし、市の一体感の醸成に努めました。



■ 現状と課題

● 地域に誇りを持てるまちづくり

本市には、昇仙峡をはじめとする豊富な観光資源や、治水の歴史にかかわる遺構、やはたいも・梅・桑の実などの地域の特産品、おみゆきさん（御幸祭）・下福沢道祖神祭・金剛寺金山神社祭典などの伝統ある祭、さらにJR竜王駅やドラゴンパークなど、さまざまな地域資源があります。

市民が住んでいてよかったと感じるまち、誇りの持てるまちを築いていくためには、他の地域にない魅力やイメージを市民全体で共有する必要があります。また、多くの地域資源を有効活用し、「甲斐市」を連想できるイメージを定着させるようなPR・努力が必要です。

そこで、個々の地域資源を有機的に連携させ、物語性を持たせることで、地域の強みが形成され、それを地域ブランドとして共有し、一体感を実感できるような取り組みが求められています。

● 地域に対する愛着心の醸成

市民アンケート調査結果では、約6割の市民が一体感を感じており、概ね政策の効果が現れていることが分かりましたが、イベントなどを通じて、より一層地域に対する愛着心の醸成を図っていく必要があります。



■ 施策の方向

(1) 地域ブランドの確立

さまざまな地域資源を有機的に連携し、物語性を持たせ、甲斐市の地域イメージである「自然環境」と「甲斐的（快適）生活」を浸透させる事業展開や情報発信を行っていきます。

[主要事業]

- ▶ 地域資源の連携
- ▶ 効果的な情報発信
- ▶ 地域イメージの確立
- ▶ 甲斐市ブランドの構築・推進

(2) 全市的イベントの企画・開催

郷育の日・甲斐市わくわくフェスタの内容をさらに充実させて、より一層市民の一体感の醸成を目指します。

[主要事業]

- ▶ 郷育の日・甲斐市わくわくフェスタの開催

■ 政策の達成目標 【成果指標】

指標名	指標の説明	指標の算出方法	前期基本計画 策定時値		現況値		目標値
市の一体感を感じる人の割合	新市の一体感の醸成に向けた取り組み状況やその成果を示す指標	市民アンケート調査において、肯定的回答をした人の割合	—		59.7%	H21	70.0%
郷土の歴史に関心を持っている人の割合	新市の歴史・文化の掘り起こしやその活用状況を示す指標	市民アンケート調査において、肯定的回答をした人の割合	—		59.7%	H21	70.0%
全市的な催し・イベントへの参加者数	市を挙げた催しへの市民等の参加状況を示す指標	地域を限定しない全市的な催し・イベントへの参加者数	—		50,000人	H21	55,000人

※前期基本計画策定時値が「—」で表示してあるものは前期基本計画策定時値が明らかでないことを表します。